

心騒ぐシニア文学サロン

2022年 **5月14日** (土) 午後2時～4時

東京教育大学のたたかいが問いかけるもの

60年代後半から70年代初頭の学園闘争の中で、唯一歴史を閉じた東京教育大学の複雑なたたかいをたどり、そのたたかいを体験した著者の作品を通して、その時代をふりかえります。

真木和泉
Maki Izumi



小説
私の
東京
教育
大学

東京教育大学は、1960年代末～70年代初頭の学園紛争で唯一、歴史を閉じた大学である。

半世紀を経て、かつての日々を愛惜込めて追尋する珠玉の小説群。

主人公たちが求めた自治と自由と民主は、もはや色あせてしまったのか。

大学は離かなくなってきたが、

たたかいは思想を生み、仲間を繋ぎ、彼らの人生を支えた。

本の泉社

報告者

安藤信廣 (東京女子大学名誉教授、
1968年東京教育大学入学)

三浦光則 (文芸評論家・民主文学会幹事)

* 作者も参加します。

◎参加について

参加費 無料

ズーム (Zoom) での参加を基本とします。参加には、インターネットに接続されたパソコン、スマホ、タブレットのメールアドレスの登録が必要です。5月9日 (月) までに「シニア文学サロン参加希望」として、連絡先電話番号をメールで下記の文学会のアドレスに送信してください。事務局からURLを送信し、連絡をいたします。

文学会事務所での参加は8人までで締め切りますので、事前に申し込んで下さい。

シニアに限らずどの世代の方でもご参加いただけます。多くの文学愛好者の皆様のご参加をお待ちしています。

テキスト・真木和泉『小説私の東京教育大学』

(本の泉社) 本体1091円＋税

『民主文学』掲載の「初雪の夜」「もう一度選ぶなら」の二作に書き下ろしの「残照」が収められています。

「心騒ぐシニア文学サロン」は、1960年代から70年代初めにかけて、心さわぐ青春を過ごした、いわゆる「団塊の世代」前後の男、女たちを中心に、この集まりは立ち上げられました。時代と文学を語り、アクティブに未来に羽ばたいて行こうとする、文学サロンです。年齢の規定はありません。関心のある方は、どなたでも参加を歓迎いたします。

お問い合わせ・参加申込みは **日本民主主義文学会**

TEL 03-5940-6335

FAX 03-5940-6339

メール info@minsyubungaku.org

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-29-9 -202